開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
青木淳英 (a-aoki@cygnus.ac.jp)			
授業形態	授業時間数	授業時間外学習時間数	科目区分
講義	15時間	30時間	専門支持分野【地域社会と健康支援】
添付ファイル			

特記事項	<p>資格選択区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ☒ 看護師資格必修 ☒ 保健師資格必修 ☒ 養護教諭二種免許必修 ☐ 看護師資格選択必修 ☐ 保健師資格選択必修 ☐ 養護教諭二種免許選択必修 <p>ディプロマポリシーとの関連性</p> <ul style="list-style-type: none"> ☐ 広い視野と人を思いやる豊かな人間性をはぐくみ、人生の問題や課題に誠実に向き合う力 ☐ 高い倫理性と堅固な使命感をもって生き抜き、人に寄り添う力 ☒ 専門的な基礎知識と論理的思考にもとづいて看護実践する力 ☐ チームワークを重んじ、創造的に多職種と連携・協働する力 ☐ 病院から地域・在宅へと療養の場が移るなかで、地域で暮らす人びとの健康と生活を支え、地域とともに歩む力 <p>アクティブ・ラーニング</p> <ul style="list-style-type: none"> ☒ あり ☐ なし <p>実務経験のある教員による授業科目の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ☐ 担当している ☒ 担当していない <p>実務経験を授業科目にどのように活かしているか</p> <p>科目等履修生ほか受入（受入可能人数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ☒ 受入可 ☐ 受入否 <p>受入可能人数 5名</p>
------	--

授業の概要	社会福祉は、高齢者、障害者、生活困窮者等の救済を目的としていた時代から、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域とともに創っていく社会を目指す「地域共生社会」の実現へと転換されてきている。本授業では、私たち住民の暮らしや生命を守る社会福祉・社会保障について、看護師・保健師が必要とする基礎知識の習得を目指し、身近な問題として実感しながら、ディスカッションやグループワークを交えて学ぶ。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉の目的、時代背景と理念の変遷を知る。 ・社会福祉・社会保障の実態や諸課題を知る。 ・社会保険、公的扶助、社会福祉の分野とサービスについて理解する。 ・福祉従事者の業務と支援方法について理解し、医療と福祉の連携について理解する。 					
授業計画	回	授業内容	授業方法	自己学修課題(予習・復習)	取組時間	担当者
	1	講義ガイダンス	講義	社会福祉・社会保障の考え方について復習する	2時間	青木
	2	社会福祉の歴史と福祉行財政	講義	社会福祉の歴史と行財政の仕組みについて復習する	4時間	青木
	3	公的扶助（生活保護制度）	講義	生活保護制度の仕組みについて復習する。	4時間	青木
	4	社会保険①（年金・労災）	講義	年金と労災保険の仕組みについて復習する。	4時間	青木
	5	社会保険②（医療）	講義	医療保障制度について復習する。	4時間	青木
	6	社会保険③（介護）	講義	介護保障制度について復習する。	4時間	青木
	7	子どもと家庭の福祉	講義	子どもと家庭に対する福祉制度に	4時間	青木

				ついて復習する。		
	8	障害のある人の福祉	講義	障害者福祉制度について復習する	4時間	青木
先行履修科目	看護学概論、公衆衛生学を履修していることが望ましい。					
テキスト	・「系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度[3] 社会保障・社会福祉」医学書院					
参考文献	・「厚生指針 増刊 国民の福祉と介護の動向」厚生労働統計協会					
評価方法	定期試験40%、授業中課題・課題レポート25%、確認テスト25%、演習（ディスカッション・グループワークなど）への参加状況10%					
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法	授業中課題や課題レポートについての講評を次回授業内にて行う。					
備考	適宜、演習（ディスカッションやグループワークなど）を織りまぜて進める予定である。					